

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル音明かり・詩明かり(音明かり)

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 1 月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ADLは維持できているが、IADLの低下で利用者の意思での行動が減っている。	利用者のできる事は可能な限り見守り行い、達成感と自信を取り戻す。	調理の盛り付け・洗濯もの干し・仕分けや筆筒の片付けなど手続き動作につながる支援の見直しをする。外出時の目的地を決める際も、利用者と共に考え行き先を決める。利用者の意思決定を重視する。	6ヶ月
2		信頼関係が築ける職員と苦手な職員の差が開いている。	苦手な利用者や職員をつくらず、誰でも対応できる関係づくりに努め、笑顔を増やす。	距離をおいている職員のコミュニケーション力の向上をはかり、信頼関係が深まる様にする。利用者間においても困ったときに仲介役が出来る様寄り添う。(利用者の交友関係を広げる。)	12ヵ月
3		介護全般の知識力不足。ユニット内での学びの機会を増やす。	介護福祉士の資格を取得する。学ぶ機会を増やす。	知識や経験豊富な職員が手助けし、勤務時間外でも気軽に相談出来る様な環境作りに努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月